

平成 28 年度 北海道遠軽高等学校の ESD 実践事例

北海道遠軽高等学校 校長 渋川 誠人

(担当 名越 美英)

1 本校の ESD (持続発展教育) の特徴

ユネスコスクールの 4 つの基本分野 ([1]地球規模の問題に対する国連システムの理解、[2]人権・民主主義の理解と促進、[3]異文化理解、[4]環境教育) を踏まえて、生徒の豊かな人間形成と心の触れ合いを大切にする態度を育むことについて、日々の教育活動を通じて取り組んでいる。

※教務部内に「ユネスコスクール担当」を設け、校内外での実践の取りまとめや庶務を担当している。

2 ESD 活動の実績

①環境のための取組

ペットボトルキャップ回収

通学路ごみ拾い

自主的な清掃点検 (委員会活動)



②異文化理解と多文化共生のための取組

ペットボトルキャップ回収 (途上国ポリオワクチン代を支える活動)

短期留学生の受け入れ

IAC 短期海外研修 (台湾) に代表生徒参加

③福祉のための取組

児童館への訪問と学童との交流

認定こども園の行事の運営補助

養護学校の生徒との交流、行事の運営補助

障害者施設の行事運営補助

赤い羽根共同募金運動の街頭募金



④平和学習および人権・民主主義の理解

時事問題に関する調べ学習と発表活動

見学旅行 (広島) での平和学習

主権者教育講座 (選挙管理委員会からの講師による講義)

人権擁護講座 (北見法務局人権擁護委員による講義)

⑤郷土の自然や文化を大切にする取組

ふるさと学講演 (地元の講師による地域の風土・歴史についての講演)

コスモス園除草ボランティア (町コスモス園にて 1 年次全生徒が取り組む)

コスモス園ボランティアガイド (コスモス園での観光ガイド補助)

湧別原野オホーツククロスカントリー大会運営補助

学校設定科目「オホーツク風土研究」の実施 (教科横断的な地域学習)

3 成果と課題

個々の活動に対する生徒の意欲・関心は年々高くなっており、ボランティア活動への参加人数も増える傾向にある。今後も、地域の実情を理解しながら「持続可能な」教育活動を展開していきたい。